

KOBE HPC サマースクール（初級）開催報告

2019年8月25日（日）～2019年8月29日（木）、理化学研究所計算科学研究センターにて、神戸大学計算科学教育センター、兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科、理化学研究所計算科学研究センターの共催による「KOBE HPC サマースクール（初級）」を開催しました。

本スクールは、大学や研究機関等に所属する学生・若手研究者を対象とし、スーパーコンピュータを駆使した大規模な計算機シミュレーションを実施し、新しい計算科学の世界を開拓したいと考えている若手研究者、企業の研究者を育成することを目的にしたシミュレーションスクールです。前回に引き続き、10回目の開催となる今回も、受講対象者やスクールの目的をより明確にするため、スクール名を「サマースクール（初級）」と題し、32名の受講生により、様々な並列計算プログラミング手法の基礎に関する講義、実習を行いました。



初日は、オリエンテーションに続き、安田修悟先生（兵庫県立大学大学院シミュレーション学研究科・准教授）による計算機サーバーの使い方等の講義がスタートしました。

2日目からは、安田修悟先生、横川三津夫先生（神戸大学計算科学教育センター・教授）、八木学特別研究員（理化学研究所計算科学研究センター）の3名の講師による計算の高速化手法、ハイブリッド並列計算（スレッド並列＋プロセス並列）の他、GPUアクセラレータを利用する OpenACC プログラミングまで多岐

にわたる講義を行うと同時に、兵庫県立大学のスパコンを利用した演習も行いました。また、2日目の夕方には、家富洋先生（新潟大学自然科学研究科教授）による「経済・社会現象を読み解くネットワーク科学」と題する講演も行いました。連日、朝から夕方までのハードな講義スケジュールでしたが、受講者の皆さんは自習時間も講師やTAへ質問をしながら、熱心に取り組んでいました。

全講義が終了した最終日には、5日間の学習の定着度を確認するためのテストを行った後、修了証書授与式、集合写真撮影を行い、スクールを無事終了することが出来ました。

終了後のアンケートでは、「今回初めて参加させていただき、並列計算初学者に大変有益な機会であった」、「私の学習レベルと合っており、たくさんの経験と知識を得ることができました」などのコメントと共に、「演習の内容が簡単すぎたとも思う。より難しい演習も発展問題として出題しても



らえれば」、「一例でもいいので演習の解答みたいなものが欲しかった」といった要望もいただきました。これらの意見は今後のスクール開催の参考にしたいと思います。

2020年3月には、サマースクールのアドバンス版としてスプリングスクール（中級）を開催する予定です。詳細が決まり次第、Web ページなどでお知らせいたします。是非皆様のご参加をお待ちしております。

